



ダイアアップ坐薬の使用方法



熱性けいれんを繰り返すお子様は、発熱時にダイアアップ坐薬を使ってけいれんを予防しましょう。37.5℃前後の発熱に気付いた時には、できるだけ速やかにダイアアップ坐薬を入れましょう。そして 8 時間後に 38.0℃以上の発熱が持続する場合には、再度もう 1 回坐薬を使用してください。2 回目挿入後は、発熱が持続していても使用しないでください。2 回の使用で予防効果はあります。坐薬を使用した際には挿入後 30 分間は坐薬がもれていないか確認してください。坐薬が明らかにもれた場合には、再度挿入してください。

他の坐薬(アンヒバなど)を使用する場合には 30 分間の間隔をあけてください。同時に使用するとダイアアップ坐薬の効果が半減します。ダイアアップ坐薬の副作用として、ねむけ、ふらつきを一時的に認めることがありますが、時間が経過すると改善します。

ダイアアップ坐薬の使用期間は最後のけいれんから 2 年間、もしくは 4～5 歳までとなっています。それ以降はけいれんが発症するリスクは減るので、予防投与は不要です。



上田小児科・外科